



平成31年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年9月13日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月27日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第1四半期の業績（平成30年5月16日～平成30年8月15日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第1四半期	4,732	2.5	205	△1.3	220	△1.5	128	△11.7
30年5月期第1四半期	4,615	△3.5	207	△33.8	223	△32.3	146	△29.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第1四半期	47.28	—
30年5月期第1四半期	53.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年5月期第1四半期	9,366	6,250	66.7	2,291.00
30年5月期	9,040	6,202	68.6	2,273.71

(参考) 自己資本 31年5月期第1四半期 6,250百万円 30年5月期 6,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
31年5月期	—	—	—	—	—
31年5月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年5月期の業績予想（平成30年5月16日～平成31年5月15日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,043	0.9	81	51.5	99	36.5	91	114.9	33.58
通期	19,190	2.1	526	△9.3	558	△9.3	412	34.9	151.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年5月期1Q	2,903,600株	30年5月期	2,903,600株
② 期末自己株式数	31年5月期1Q	175,480株	30年5月期	175,480株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年5月期1Q	2,728,120株	30年5月期1Q	2,728,184株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移したものの、米国の保護主義的な通商政策による世界的な貿易摩擦が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、消費者の節約志向に加え食材価格の高騰傾向、人手不足の深刻化と人材の確保を目的とした人件費の上昇など、経営環境は厳しい状況が続きました。

このような状況において、当社は、「アイルランド産天然本まぐろ」や「南まぐろ」など、当社の主力食材である「まぐろ」にこだわったイベントメニューの充実に加え、「銚子まるかじり！」など産地とのタイアップ企画に取り組み、既存顧客の来店動機高揚と新規顧客の獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は47億32百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は2億5百万円(同1.3%減)、経常利益2億20百万円(同1.5%減)、四半期純利益は1億28百万円(同11.7%減)となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ3億26百万円増加し、93億66百万円(前事業年度末比3.6%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ3億13百万円増加し、66億55百万円(同4.9%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加1億83百万円、原材料及び貯蔵品の増加58百万円及び預け金の増加68百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ12百万円増加し、27億10百万円(同0.5%増)となりました。これは、主に店舗設備の増強によるものです。

(負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ2億79百万円増加し、31億16百万円(前事業年度末比9.8%増)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ2億84百万円増加し、27億11百万円(同11.7%増)となりました。主な内訳は、買掛金の増加57百万円、短期借入金の増加21百万円及び未払金の増加1億43百万円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ5百万円減少し、4億5百万円(同1.4%減)となりました。主な内訳はリース債務の減少3百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ47百万円増加し、62億50百万円(同0.8%増)となりました。主な内訳は、当第1四半期累計期間の四半期純利益であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高191億90百万円、営業利益5億26百万円、経常利益5億58百万円、当期純利益4億12百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き関東エリア(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)を重点としたロードサイドでのドミナント出店に加えて、新たに都心部を中心に、商業施設内、駅前等の繁華街立地も視野に入れた店舗開発に取り組み第42期(平成30年5月16日から平成31年5月15日まで)の新規出店数は、従来のドミナント出店もあわせて3店舗を計画しております。

併せて不採算店の退店により近隣店舗に再配置した人的資源の有効活用に注力し、店舗力の向上と利益体質の一層の強化を進めてまいります。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市場変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成30年8月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,810,031	5,993,396
売掛金	207,874	216,844
原材料及び貯蔵品	117,253	175,350
その他	206,745	270,188
流動資産合計	6,341,904	6,655,779
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	798,666	763,140
その他(純額)	443,009	490,825
有形固定資産合計	1,241,676	1,253,965
無形固定資産	14,389	13,862
投資その他の資産		
敷金及び保証金	849,351	839,073
貸倒引当金	△1,078	△1,078
その他	594,147	604,961
投資その他の資産合計	1,442,420	1,442,956
固定資産合計	2,698,486	2,710,784
資産合計	9,040,391	9,366,564
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,004,326	1,062,174
短期借入金	138,000	159,000
資産除去債務	—	2,382
未払金	952,114	1,095,142
未払法人税等	81,015	91,490
賞与引当金	110,700	82,200
株主優待引当金	32,212	25,749
店舗閉鎖損失引当金	2,000	2,000
その他	105,768	190,952
流動負債合計	2,426,136	2,711,093
固定負債		
資産除去債務	201,500	199,512
その他	209,790	205,847
固定負債合計	411,290	405,360
負債合計	2,837,427	3,116,453

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成30年8月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	6,397,140	6,444,286
自己株式	△746,956	△746,956
株主資本合計	6,202,964	6,250,110
純資産合計	6,202,964	6,250,110
負債純資産合計	9,040,391	9,366,564

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年5月16日 至平成29年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年5月16日 至平成30年8月15日)
売上高	4,615,459	4,732,189
売上原価	1,904,555	1,956,844
売上総利益	2,710,903	2,775,345
販売費及び一般管理費	2,503,091	2,570,286
営業利益	207,812	205,058
営業外収益		
受取利息	566	532
協賛金収入	12,828	12,648
その他	2,580	3,553
営業外収益合計	15,974	16,735
営業外費用		
支払利息	160	347
現金過不足	232	808
その他	2	625
営業外費用合計	395	1,782
経常利益	223,392	220,011
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	6,000	—
固定資産売却益	—	1,407
特別利益合計	6,000	1,407
特別損失		
減損損失	—	24,496
特別損失合計	—	24,496
税引前四半期純利益	229,392	196,922
法人税等	83,339	67,932
四半期純利益	146,052	128,989

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。